

ヘーベル・ベースバック・アスロック・イーゼット・フレイムキット 販売施工 名取屋興産株式会社 TEL 042 (341) 8811 FAX 042 (345) 1002	耐震診断現場調査(コア採取試験)・赤外線調査・超音波 測定等コンクリート構造物の総合診断会社  三協 株式会社 〒140-0013 東京都品川区南大井 2-12-10 TEL :03-3298-2081 FAX :03-3298-2080 http://www.sankyo-net.co.jp
---	--

●高田 泰治郎	広報委員から
	(有)タカダ都市設計 府中市武蔵台 掲載は順不同

○福室 武 委員（ふくむろ建築設計事務所）

広報委員の皆様には数々の助言をいただき心より感謝申し上げます。
支部の活動に携わる事で自分自身を少し成長させて頂いたと思います。
そして広報誌を購読された正会員・賛助会員様の発展をお祈り申し上げます。

○桜木 洋一郎 委員（アーキデザインスタジオプラス一級建築士事務所）

「広報委員とは名ばかりで、委員長はじめ委員他の方々にはお世話になってばかりの2年間でした。
しかしながら、何故か「委員会」の招集だけは楽しみにしておりました。皆様、ありがとうございました。」

○関 理一郎 委員（関建築研究所）

そろそろ70歳の声を聞く年齢になりました。年金暮らしの悠々自適とはいきません。
住宅ローンや従業員を雇っていた頃の事務所の借金を返済する立場にあります。一人になってからは主に
「図面書き」の仕事を手がけています。「図面書き」の仕事を安定的に受注するには、やはり大きな物件を
数多く扱っている設計事務所との繋がりがが必要です。そのため、大きなプロジェクトに参加し、相手事務所に
詰めることもあります。残念ながら支部の活動に消極的にならざるを得ず申し訳なく思っています。
木造耐震診断業務もここに来て尻すぼみの感が否めません。
身近な境遇を話し始めたら、つい愚痴っぽくなってしまいました。借金はいずれ返済し終えるとして、今後
いかにして老後を面白くおかしく過ごせるかを考えたほうが得策のように思えます。しかし仕事ばかりの生
活で趣味らしいものも生きがいらしきものもありません。一時は釣り、ゴルフ、俳句、囲碁、水泳と挑戦し
て見たものの、結局身につかず長続きしませんでした。最初はのめりこむのですが、いつに間に放り出し
てしまうのです。根が飽きっぽく冷めやすいのでしょうか。最近ではTVの前でぼんやり過ごすことが多く、
たまに女房の勧めで旅に出ることがあるぐらいです。とても生きがいを持った老後とはいえません。
そういう意味では、趣味のない自分は仕事に精をだすのもいいのかも知れません。少なくとも退屈な日々に
うんざりすることはありません。頭の体操になりますし、規律のある生活は約束されます。世に退屈な老後
を送って悶々としている人がいると聞いています。仕事も捨てたものではないかも知れません。しかし借金
返済のための仕事は苦痛が伴います。はやく小使い稼ぎのため仕事に身を置く境遇になりたいものです。

○高田 泰治郎（タカダ都市設計）

広報を購読された会員・賛助会員の皆さんまた広告のスポンサーを長く努めていただいた賛助会員の皆様、
編集担当者として心から感謝いたします。さらなる会員・賛助会員様のご発展をお祈り申し上げます。
今後とも「広報ほくぶ」をよろしく願いいたします。

●新会員				
入会	株式会社寺嶋建築設計事務所	東村山市本町 2-19-21	042-395-5175	FAX 042-395-5180

●支部スケジュール		●支部関連イベント	
4月	第1回耐震委員会（4/1）第47回北部支部会員交流ゴルフ大会（4/9）第12回支部役員会 第2回耐震委員会（4/15）	4月	第23回武蔵野桜まつり（4/5）むさしの・住まいのよろず相談役員会（4/6）第1回武蔵野市住宅対策課との連絡会（4/16）支部長会議（4/24）
5月	第3回耐震委員会（5/7）第13回支部役員会（5/20）平成27年度定期支部総会・懇親会（5/20）	5月	第9回武蔵野ピクニック（5/16）、平成27年度第1ブロック会議（5/22）
6月	平成27年度北部支部研修会（6/7,8）耐震委員会（未定）支部役員会（未定）	6月	第88回定時総会（6/1）第6ブロック会員交流ゴルフ大会（6/10）
7月	耐震委員会（未定）支部役員会（未定）暑気払い（未定）	7月	

季刊 広報 ほくぶ さつき号 第11号（4月10日発行） 発行：（社）東京都建築士事務所協会 北部支部 住所：〒188-0011 西東京市田無本町 4-9-1 測量センター内 メールアドレス：info@taaf-hokubu. jp. org	
---	---

●川田 伸紘	6年間を振り返って
	(株) K 設計工房 武蔵野市吉祥寺東町

この5月の支部定時総会で、私は3期6年間の支部長という重責から退任します。重責というのは、支部を預かる重要な役割であるという意味ですが、その役割がとても重かった、だからとてもではないがやっていられない、という意味ではありません！いろいろなことがこの6年間にありました。支部のみなさま、とりわけ支部役員の方々に支えられて、ようやくこの務めを果たすことができたことを感謝しています。
振り返れば、そもそも第1期目の就任時の総会の時からして、私自身が入院しており、欠席のままにこれをお受けしました。怪我とか骨折とかという症状ではなく、脳幹出血であったため、直ちに絶対安静を命じられました。退院して復帰すること自体が危ぶまれていました。仕事（本業のこと！）面でも、設計が終了して、丁度、初回の現場打ち合わせ会の当日の入院でしたので、自分の生死よりも（？）それらへの対応が気がかりで、「帰宅するのなら、救急車でしか病院には戻れませんよ！」という制止を振り切って、一旦帰ったことでした。幸い3週間ほどで外見的な症状も残らず（残ったかな？）退院を許され、ゆっくりと自宅で回復療養にとの指導が主治医から言い渡されたものの、支部の運営責任者という役割はすぐにもスタートしなければなりませんでした。そういったブランクもあり引継ぎ不足や種々の手続きなど、ほとんどわからないままに模索しながらの新米運転でした。（次期支部長には、また支部のためにも、そういう思いはできる限りしないで済むようにしたいと思っています。）

前任の支部長から引き継いだ時の正会員数は確か37社であったと思います。その後それら会員の方々の中には、疾病、廃業、あるいは経営不振の為、または他支部への移籍、さらには逝去等々の為などで10数社が支部を去っていきました。その反面、それを上回る会員の入会の結果、一時は支部が最も隆盛であったころの50社に並びましたが、現在は48社となっています。つまりこの間に20数社が入会してきた勘定になるのです。会員数は増えながら、数字上は半数近くがここ6年間の新会員ということになります。そのように結果的に会員数は増えたのですが、増やしたのかと言えば、必ずしもそうとも言えません。増やすのではなく、増えるということがより大事と思っています。その目標のために何をすべきか、また何ができるかということとずっと思ってきました。例えば「防災まちづくり設計事務所研修会」は4年連続で開催できましたが、そのような位置づけをしてきました。さて、どこまで実現できたかは別の話ですが、支部長として私が一番心がけたことは、支部や協会の内外の関係情報をできるだけ皆さんに流して知っていただく、という点でした。また支部のエリア内の各自治体との連携協働を確立して深めていきたいということもありました。
遺憾に思う事、また反省を深くしていることに、50年以上の会員の退会ということがありました。痛恨の極みです。なぜその方の退会を止められず、その英知を支部に汲み取ることに至らなかったのか、いまさらながらに悔やまれます。もうひとつ。すべての会員の方々にお会いして支部や協会についての事柄をお聞きしたいと思っていました。新規に入会された方々とは親しく接触することができましたが、支部会員でありながら一度も顔を見たことも無い方が幾人も残ったままで、これを果たすことはついにできませんでした。
さらにこの3月には支部の耐震関連事業の中心であった荻原善徳氏を病魔が襲って帰らぬ人となったことを挙げなければなりません。心より故人のご冥福を祈り、ご遺族に哀悼の意を表します。
新支部長の下で、支部の融和と結束が深まり、支部がさらに発展してゆくことを願っています。ささやかながらもその為に尽力してゆきたいと思います。

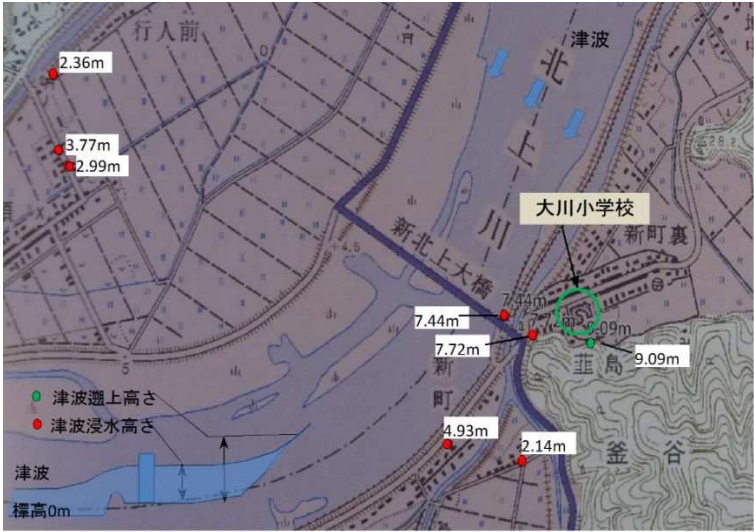
 児玉コンクリート工業株式会社 〒171-0022 東京都豊島区南池袋 2-9-9 http://www.kodama-conc.jp		アルミニウム製建具、鋼製建具 YKK AP株式会社 東京ビル建材統括支店立川支店 〒190-0012 東京都立川市曙町 1-27-10 読売立川ビル6F TEL：042-521-1020
---	---	--

●秋田 昌利

特集 3.11 を忘れない (1)

秋田二級建築士事務所 東久留米市滝山

□ 3.11 津波の恐ろしさを忘れない！ ・ 宮城県石巻市 「大川小学校の悲劇」



古今書院 津波詳細地図 上巻より

・ 岩手県釜石市 ②「鵜住居防災センターの悲劇」とすぐとなりで起きた ③「釜石の奇跡」

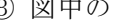
② 鵜住居(うのすまい)防災センターは 鉄筋コンクリート造 2 階建て(標高 4.3m) 最寄りの海岸まで 1.2km のところにありました。



古今書院 津波詳細地図 上巻より

① 北上川河口から 5km のところにある市立大川小学校 3.11 の時 校庭にいた児童 7 8 名中 7 4 名 教職員 1 1 名中 1 0 名が死亡しました。大川小学校の近くにはほかに 5 つの小中学校がありましたが ほとんどの学校では安全な場所に子供たちを避難させていました。どうしてこのようなことが起きたのでしょうか。左図の数値は津波の浸水高さ 遡上の高さを表しています。大川小学校の裏は山になっています。津波の方向から山が津波を遮って水位を高くしたとも考えられます。それにしても児童たちはなぜ 1 時間近くも校庭にじっとしていたのでしょうか。事態を把握していた教師もほとんど亡くなっていることでさらに謎が深まります。

3.11 の時は 2 階の天井まで水が浸かり 3 4 名が救出、6 9 名が亡くなりました。当時このセンターには 2 0 0 名以上が避難していたと言われている。つまり半数以上の人建物の外に流されてしまったようです。海岸までの距離は近く、鉄筋コンクリート造で 3 階建てであれば多くの人が助かったと思われます。

③ 図中の  線は釜石東中学校 鵜住居小学校の生徒そして近所の老人たち、そして保育園児も一緒になり迫りくる津波に避難所を転々としながら無事津波を乗り越えた道筋です。「釜石の奇跡」と言われています。

●秋田 昌利

特集 3.11 を忘れない (2)

秋田二級建築士事務所 東久留米市滝山

□ 「釜石の奇跡」 3.11 以前 2004 年から片田先生(群馬大学)は釜石市の防災・危機管理アドバイザーを務めていました。片田先生の津波避難 3 原則があります。i 「想定にとらわれるな」 近年住民防災意識を高めるために各自治体が発行しているハザードマップ(上図で示す

 の部分)が発表されていますが、これを信じるなということです。これを作った人には迷惑な話です。

ii 「最善を尽くせ」 これはこの程度でいいだろうではなく変化する状況に応じて最善の努力をすることです。

iii 「真っ先に逃げろ」つまり自分に直接危機が迫った場合他人のことは考えず真っ先に逃げろという 3 原則でした。そして 3.11 を迎えます。この教えを見事に貫いたのが鵜住居小学校 釜石東中学校とその周辺の住民 保育園児の皆さんです。普段の街並みが土煙と海に変わっていく異常な状況下迫りくる津波に応じて避難所を変えていった様子が上図からわかります。

□ 大川小学校で避難が遅れた本当の理由はわからない。

国土交通省 ウェブマッピングシステム 3.11 以前の大川小学校の写真
その他 参考文献等： 「釜石の奇跡」 NHK スペシャル取材班 イースプレス社刊
放送大学 安全・安心のマネジメント 片田教授の話 図表より

●高田 泰治郎

荻原さん逝去

(有)タカダ都市設計 府中市武蔵台

3 月 22 日日曜日 荻原さんの通夜に出席いたしました。大変残念なことです。いろいろと実感としてわかってくるのはこれからかと思います。

昨年の忘年会の席で腰が痛いと話していましたが、ガンの様子は全くなかったのですが。

今年 1 月、支部の実務者講習会のテキスト内容について、支部長の事務所で打ち合わせした際、入院する予定で少し休むということでした。持病の心臓かと思いや、そうでなく腫瘍マーカーが 250 を超えているので精密検査を行うとのことでした。私の知識では 50 を超えているとかなり危ない状況にあると思いましたが、数字の大きさにびっくりで本人もそんな感じで、入院して問題があればその場で手術するとのことでした。入院後数週間で退院し、実務者講習会の講師も勤められ、あの数字はどういうことなのかと少し気になっているところでした。その後しばらくして再入院、見舞いに行く時間もなく、3 月 18 日訃報を聞くことになりました。

荻原さんの無念な思いを考えると、同世代の人間として複雑な思いがあり、残されたものとして「時の無常」を今更痛感した次第です。思い出すのは一昨年の 12 月 (2013 年 12 月 3 日) に広報の会員紹介のインタビューです。武蔵境駅北口のロイヤルホストで待ち合わせ、荻原さんの柔道一直線や趣味の将棋などについて、関さんと一緒にお話をお聞きしました。まじめな受け答えの中に「荻原イズム」をひしひしと感じた次第です。(詳細は季刊広報はくぶ新年号第 7 号掲載)

会員名簿では昭和 60 年 (1985 年) 版に記載されています。30 年以上も支部の発展にご尽力いただきました。また支部耐震委員として重要な役割を果たしてこられ、行政担当者との打ち合わせ、ピアチェックの必要性や具体的な方法など提案され、耐震業務の拡大に大きな功績を残しております。今後も荻原さんが積み上げてきたものを継承し、大事に育てられればと考えております。

自動ドア・ステンレス建具

 ナブコシステム株式会社

西東京支店

〒186-0003 国立市富士見台 2-31-1
TEL : 042-575-1725

<http://www.nabcosystem.co.jp>

2011年4月1日 株式会社LIXILが新たに動き出します。

トステム・INAX・新日軽・サンウエーブ・東洋エクステリアは、2011年4月1日より、株式会社LIXIL(リクシル)としてお客さまの多様なニーズに対応した商品とサービスを提供してまいります。

株式会社 LIXIL 東京西支店

東京都立川市泉町 841-141 <http://www.lixil.co.jp>



大建

東京都東村山市秋津町 3-50-3

042 (393) 1177

生コン販売・ALC (ｸﾘｯﾌﾟ)・耐火被覆他

日興産業株式会社

TEL 042-342-0044 FAX 345-9576